

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 754 decembro 2013

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurô minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYÛGOKU kaj SIKOKU
Oogonzan-tyô 7-15, Minami-ku, Hiroshima-si, 734-0041

ENHAVO

第100回日本エスペラント大会.....	1-2
語尾なし単語の使い方(12).....	相川節子 2
楽しい作文教室(30).....	塚本猛 3
Kajero libervola: Fotilo kaj pentraĵo.....	
..... MATUMOTO Midori 4	
対訳:「大きな手」(2).....	竹久夢二 / 沖恵明 5
書評:『日本エスペラント運動人名事典』.....	渡辺克義 6
『人名事典』が出るまで.....	峰芳隆 6
Salono: 西千寿子.....	7
第100回日本大会樽酒顛末記.....	木元靖浩 8
第101回日本エスペラント大会 Informilo.....	9-12
ヨーロッパ旅行記(3).....	市川晋平 13
Vortaro por lernantoj(135).....	Laŭlum 14
La Movado:九州大会、KER試験対策セミナー、人形博覧会、ロンドの活動、ザメンホフ祭予定ほか.....	14-15
Vortkruca enigma/作文教室課題.....	16
Mikspoto/作文教室成績/KLEG事務局だより.....	17
計報:坂本イク子さん、鳥原茂之さん.....	17
2013年度記事索引.....	18-19
編集ノート.....	20

充実の公開番組、多彩なプログラム

第100回日本エスペラント大会に719人



ホールでのコンサートや講演、小部屋での分科会、にぎわう salono、廊下での歓談・・・会場のどこでも国外からの参加者が見られた。国内大会ではあるが、国際行事のような雰囲気。第100回日本大会は10月12日から15日までの4日間にわたって、東京都江戸川区のタワーホール船堀で行われた。参加者は719人、そのうち約40人が国外からだった。若者向けの番組が複数用意され、若い人の参加も近年に比べて多かった。

開会式

まず大会会長鈴木恵一朗さんがあいさつ。次いで大会実行委員長石川智恵子さん、東京都知事猪瀬直樹さん(代読東海林敬子さん)、江戸川区長多田正見さんと続いた。世界エスペラント協会会長 Mark Fettes さんのメッセージを Lee Jung-kee さんが代



読した。大会に招待された外国人を代表して7人があいさつ。物故者へ黙祷の後、La Espero を歌って終了した。続けてホールの座席で記念写真を撮った。
公開番組

入門講習は12日に行われ、藤巻謙一さんの指導で約50人がABCから学習。一般市民の参加も多かった。

公開講演は3コマ。13日には日本のエスペラント運動をテーマに、後藤斉さん、Ulrich Lins さん、木村護郎さんが講演した。司会は寺島俊穂さん。14日には Osmo Buller さんの講演「ラムステットについて」、Jack Halpern さんの講演「効果的な外国語学習とは? 私がエスペラントを勧めるワケ」がそれぞれ行われた。Jack Halpern (春暹雀来) さんの講演会場は立ち見の人も含め満席だった。



講演とはひと味がう公開番組「文学対談」も14日に開催された。間宮緑さん・温又柔(おん・ゆうじゅう)さんの新進作家ふたりが、エスペラントと文学について語った。

13日の夜には公開コンサートが行われた。北川淳人トリオのジャズ演奏、野田淳子さんの歌、Eterne Rimaさんのラップ、朝鮮の太鼓の演奏、詩の朗読、沼田盛也さんと読谷山こずえさんの歌と続く。最後はJoMoさんの歌で、会場から何人もが舞台上がって踊った。受付では、東日本大震災被災者支援募金も行われた。

分科会など

分科会や併行番組は数多く催された。公開番組以外の講演、発音講座などの学習番組、パソコンやタブレット端末での辞書利用やインターネットによる交流など新しい技術に関するもの、囲碁・音楽など趣味に関するもの、仏教・大本など宗教の分科会、盲人のエスペラント活動や点訳に関するもの、「エスペラント会懇談会」「どのようにしてエスペラントの集まりを催すか」「ドラッカーの『マネジメント』の視点から」など、運動に関するものなど、多彩さでも番組数でも、例年の大会をずっと上回っていた。懇親会

会場内の宴会場で142人が出席して行われた。関西エスペラント連盟とLa Movado購読者有志から寄贈の樽酒が出席者にふるまわれた。(p.8参照) 展示

エスペラントの歴史の中で運動に貢献した有名人について、ひとりずつ説明したパネルが並べられた。同じ部屋で、東日本大震災の被災地の写真も展示されていた。

閉会式

石川智恵子さんが大会の概要を報告。大会旗が次期開催地小浜の北川昭二さんに渡された。大会実行委員と helpantoj が壇上にあがり、拍手をあげた。

記念品

主な記念品は "Japana Literatura Juvelaro"。日本文学の翻訳を募集し、それに応募した作品35編をまとめたもので、記念大会にふさわしい美本。

大会後

日本エスペラント協会などが招待した7か国11人を始め、大会に参加した外国人の多くは大会後も日本各地を訪れ、西日本各地でも交流が行われた。

2013.12

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (12)

相川節子

本来副詞 (19) ju と des

この連載では、副詞とは言えない単語も「本来副詞」のくくりで説明していますが、juは機能で分類するなら接続詞です。『エスペラント日本語辞典』の巻末付録でも、「本来副詞」のリストに入っていません。しかし、いっしょに使われる des を説明する都合上、ここで扱います。

Ju pli forte Norda Vento blovis, des pli firme la vojaĝanto tenis la surtuton.

(北風が強く吹けば吹くほど、旅人はますますしっかりと外とうを押さえた)

Ju pli multaj homoj deziras spekti la matĉon, des malpli facilas aĉeti la bileton.

(その試合を見たい人が多いほど、切符を手に入れるのがいっそうむずかしい)

上記の文例のように、「～であればあるほど、ますます～になる」と言う時に使われます。

ju は単独で使われることはなく、ju pli または ju malpli という組み合わせになります。そして、ju pli または ju malpli は、原則として des pli または des malpli と対になって使われます。

一方 des pli あるいは des malpli の方は、必ずしも ju と対ではなく、単独で使われることがあります。これは、前段の ju pli を使った部分が省略されたかたちだとも考えられますが、「この条件のもとではなおさら」と言いたい時に使われるようです。

La strato estis senhoma, kaj mi sentis des pli fortan malvarmon.

(通りにはひと気がなく、余計に寒さを感じた)

本来副詞 (20) ĵus

ĵus と ĝuste はよく混同されます。英語の just がどちらの意味にも使われるからでしょうか。ĝuste の方は「ちょうど」「正しく」の意味ですが、本来副詞の ĵus は「たった今」「直前に」の意味で、時間に関する表現にだけ使います。

La kunveno ĵus finiĝis.

(会合はたった今終わりました)

Ĉi tiu estas ĵus eldonita libro.

(これは出版されたばかりの本です)



①大雨にもかかわらず彼は家に戻った。

【訳例 1】Malgraŭ pluvego li revenis hejmen. (水渡, Yo, Ĉielarko, Fumi, M.H.)

【訳例 2】Malgraŭ pluvego li revenis al sia hejmo. (ikona)

【訳例 3】Malgraŭ la pluvego li revenis hejmen. (Dalpengi, CA)

～にもかかわらず: malgraŭ.

大雨 pluvego は eg を使わずに forta pluvo や densa pluvo ということもできます。malgraŭ は前置詞ですから pluvego の前に置きます。訳例では文頭にありますが、もちろん文末にも置けます。もし malgraŭ tio ke, malgraŭ ke として ke 節を使うのなら pluvegis にしますが、この課題では訳例のように前置詞＋名詞を使う方が良いでしょう。

「家に戻る」は、自分の家に戻る、帰宅する、という意味ですから、訳例 1 のように reveni hejmen を使います。現在の用法では domo (家) だけで自分の家を指すわけではないので、ここに domen は使えません。

②私たちは地球温暖化について議論した。

【訳例 1】Ni diskutis pri tera varmiĝo. (ヒー坊, AG, festo, ikona, Ivajo, Ĉielarko, M.H.)

【訳例 2】Ni diskutis pri la varmiĝo de la Tero. (Dalpengi, alfa)

地球温暖化: tera varmiĝo.

議論する: diskuti.

「地球温暖化」は地球の平均気温が上昇することですから varmiĝi (熱くなる) で表現します。varmigi だと「熱くする」になります。人間活動が温暖化の一因かも知れないとはいえ、熱くしようとは考えていないので varmiĝo で良いと思います。「地球」の部分は tuttera や tutmonda でも良いでしょう。訳例 2 のように de la tero を使うのも良いと思います。

③彼は以前とは違う意見を持っている。

【訳例 1】Li havas malsaman opinion ol antaŭe. (Dalpengi, CA, alfa)

【訳例 2】Li havas malsaman opinion kompare

kun la antaŭa. (AG)

【訳例 3】Lia nuna opinio estas diferenca de la antaŭa. (ikona)

原文を言い換えると、「彼は今、彼が以前持っていた意見とは異なる意見を持っている」になります。訳例 1 で ol の次は比較の直接対象であり、他は通常省略します。前半と同様の構文で antaŭe 以降の省略部分を補うと antaŭe li havis (ian) opinion (以前にはある意見を持っていた) になります。従って、「以前とは」に対応する ol antaŭe を ol antaŭa にすることはできません。ただし、訳例 3 のように opinio を主語にした場合は nuna opinio に対応する antaŭa opinio であると考えられるので ol la antaŭa と表現します。

「違う」に対応する語としては malsama (異なる) を使うことが多いと思いますが、同義語の diferenca (違う) にしたり、文脈によっては alia (別の) に置き換えても良いでしょう。

④彼の意見は正しいような気がする。

【訳例 1】Lia opinio ŝajnas al mi ĝusta. (Drako, ikona)

【訳例 2】Ŝajnas al mi, ke lia opinio estas ĝusta. (Dalpengi, Eiko, ヒー坊, alfa, AG, Ĉielarko, Fumi, M.H.)

【訳例 3】Ŝajnas al mi, ke lia opinio estas prava. (Yo)

【訳例 4】Ŝajnas al mi kvazaŭ lia opinio estas ĝusta. [解説参照](T.Ku)

「正しい」に ĝusta (的確な、当を得た) を使った解答が多かったのですが、訳例 3 は prava (正当な、もっともな) を使っています。ĝusta はぴったり合致している場合に使いますし、prava は意見が公正な場合などに使います。

ŝajni は、根拠がはっきりしないものの、そのように思える場合に使います。訳例 2 のように ke 節を使う解答が多かったのですが、訳例 1 のように単文で表現することもできます。

訳例 4 はニュアンスが少し違い、彼の意見が正しくないと考えている時の例でしょう。通常、kvazaŭ の後の動詞は仮定法を使いますので estus にします。「あたかも当を得た意見であるかのように思える」でしょうか。題意からは少し離れますが面白い解釈ですね。

成績は p.17、新しい課題は p.16

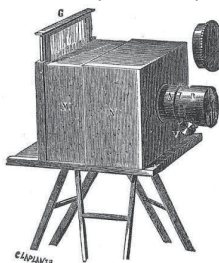
2013.12

写真技術は 19 世紀に発明されました。ダゲレオタイプやカロタイプ、コロディオン法などの写真技術が発明され、名刺写真が大流行しました。しかし、それらは細密描写に徹していた肖像画家の地位を脅かし、描く対象の持つ固有の色を離れて絵肌に変化をもたらす印象派を生み出すきっかけとなりました。

En la 19-a jarcento en Francio portreto estis simbolo de riĉeco. Mendi portreton estis privilegio de riĉuloj. Ricevi mendojn de portreto estis granda honoro por pentristoj. Ili detale kaj fidele priskribis la vizaĝajn trajtojn de la mendinto.

En 1837 la pentristo *Daguerre* [dager] inventis fotografion kaj prezentis la inventaĵon al la Akademio de Scienco kaj Arto la 9-an de aŭgusto 1839. La nova tekniko pro sia ekzakteco kaj alta sentiveco bele surprizis la mondon. Pentristoj, kiuj ĝis tiam konkuris unuj kun la aliaj en miniaturo de siaj verkoj, ricevis grandan ŝokon pro la rimarkinda progreso de scienco kaj tekniko. Ili estis devigitaj pripensi sian ekzistkialon. Fotistoj nun estis iliaj rivaloj. Fotografion timis, ekzemple, *Ingres* [ingr], reprezentanto de neoklasikisma pentrado, kiu estis vaste konata pro siaj realismaj pentraĵoj. *Delaroche* [delaroŝ], kiu ĝis tiam estis sub lia influo, postlasis famajn vortojn: Hodiaŭ pentroarto mortis. Multaj portretistoj kaj kopipentristoj ŝanĝis sian profesion -- de pentristo al fotografisto.

La unua fotografio, kiu povis fari bonkvalitajn bildojn, estis inventita de *Daguerre* kaj la procezo nomiĝis "dagerotipio" laŭ la nomo de la inventinto. Li tamen ne tuj publikigis ĝin. Li kreis asocion kun membroj kaj diskonigis ĝin nur al ili. Post la publikigo de la dagerotipa



fotografio aperis kalotipio, kiu povis reprodukti fotojn. Ĝi superis pentroarton en tio, ke ĝi kapablis kapti larĝan gamon da delikataj tonoj de motivoj. En 1860 vizitkarto kun foto furoris. Altranguloj fotiĝis kun io unika el sia profesio en la mano kaj metis la foton sur sian vizitkarton por elmontri sian socian pozicion. En 1855 ĉe la Universala ekspozicio en Parizo surprizis la spektantojn la okulfrapa progreso en fotografio. Debutis la kolodia procezo, kiu bezonis nur mallongan tempon por eksponi plakaĵon. Sed daŭris longe ĝis aperis pli bona tekniko, kiu sukcesis malgrandigi la fotilon kaj mallongigi la tempon bezonatan por kapti motivojn. Fine, pentristoj povis pli facile kunporti la fotilon eksteren kaj praktike uzi ĝin.

Estas fakto, ke iuj pentristoj faris pentraĵojn uzante fotilon. Ekzemple, *Ingres*, kiu montris malamikecon al fotilo, sekrete fotis siajn modelojn kaj "pentris" ilin, rigardante la fotojn. Ankaŭ *Delacroix* [delakroa], la standardisto de romantikismo, kiu alte taksis la kapablon de fotilo kaj fariĝis membro de Instituto de Fotado kaj mem faris fotojn. Sed pro la apero de la fotilo pentristoj devis serĉi sian individuecon en pentrado, ĉar ili komprenis, ke la realisma pentraĵo ne povas venki foton laŭ la vidpunkto de ekzakteco. Ili ŝanĝis sian pentromanieron pri koloroj kaj ecoj de la surfaco, kiujn fotado ne povis imiti. Ili ne uzis la realajn kolorojn. Ili ŝveligis la surfacon de kanvaso. *Courbet* [kurbe], ekzemple, reliefigis la bildon, metante sur la kanvason tavolojn da farbo per paleta tranĉilo kaj penikoj. *Monet* [mone] prezentis arbotrunkon ruĝa kaj flava, sed ne nepre bruna kiel aspektis la objekto efektive. Tio signifas, ke la invento de fotografio helpis al la art-mondo naski la impresionisman skolon.

kalotipio: 史上初のネガ・ポジ法の写真術
Daguerre: ダゲール Ingres: アンゲル
Delaroche: ドラローシュ Delacroix: ドラクロワ
Courbet: クールベ Monet: モネ

大きな手

(2)

竹久 夢二

B Cさんの手は私達の手と違って、そりゃあお忙しいのよ。ほら、Cさんのお母様(かあさん)は御病気でいつも床に就いていらっしゃるのでしょう。だからCさんがお父様(とうさん)の身のまわりの事から、お台所の事から、それに小さな弟さんの面倒まで、そりゃ行届いてなさるんですって。

A まあねえ、

B それなのに、一日だって学校はお休みにならないし、遅刻一つなすった事はないでしょう。

A ええ そうよ

B 何時(いつ)だったか、お琴のお稽古(けいこ)の帰りに、なんでも大変寒い日の午後だったわ。Cさんのお家(うち)の前を通ったら、Cさんの裏の井戸端で、雨が降ってるのに手拭(てぬぐい)を被(かぶ)って、手を真赤(まっか)にしてお米を磨(と)いでいらしたの、あたしほんとにお気の毒になっちゃって、知らぬ風をして行過ぎようと思ったら、Cさんの方から気がついて「あら、Bさん何処へいらしたの」って笑いながらおききになるんでしょう。あたしほんとに涙が出たわ。

A そう言えばあたし、あの方がいつか人形を作って、白耳義(ベルギー)の少女達へお贈りになった話を聞いたわ。

B それもCさんが、ああしたお忙しい時間の中からお作りになったんだわ。

A そうねえ。

B それにまだCさんの事では、感心なお話があるの。あの方はねえ、毎朝牛乳配達をしていらっしゃるのよ。

A まあ。

(続く)



Desegnis Goro Miwa

Grandaj manoj

(2)
de TAKEHISA Yumezi
tradukis: OKI Keimei

B: Ŝiaj manoj ja estas okupitaj malsame ol la niaj. Ŝia patrino estas malsana kaj ĉiam estas en kuŝejo. Vi scias, ĉu ne? Tial ŝi zorgas pri sia patro, pri manĝoj, plie pri sia eta frato. Ŝi ja perfekte plenumas tiujn taskojn, mi aŭdis.

A: Ŝajnas tiel.

B: Malgraŭ tio, ŝi ne forestas en la lernejo eĉ unu tagon nek malfruigas en la lecionhoroj eĉ unu fojon, ĉu ne?

A: Jes, vi pravas.

B: Iam, tamen mi ne memoras klare la daton, estis posttagmeze de tre malvarma tago. Kiam mi preterpasis la domon de C en la revenvojo al mia domo post la fino de leciono pri ludo de kotoo (*2), malgraŭ pluvado ŝi portis tukon sur la kapo kaj kun ruĝaj manoj lavis rizon. Tial mi decidis preterpasi ŝin, afektante ne rimarki ŝin esti tie, pro tio ke mi sentis kompaton al ŝi. Tiam C rimarkis min pasi kaj kun rideto ja demandis min: "Ej?! Kien vi iris?" Mi vere larmis.

A: Mi rememoris unu rakonton, ĉar vi parolis tian aferon. Mi aŭdis, ke ŝi iam faris pupojn kaj donacis ilin al knabinoj de Belgio.

B: Devas esti, ke ŝi faris ilin dum tia okupiteco.

A: Mi konsentas al vi.

B: Krom tiuj aferoj mi scias alian kortuŝan rakonton pri C. Ŝi ĉiumatene liveras lakton de domo al domo.

A: Ho, estiminde! (daŭrigota)

*2) kotoo (koto, 琴)

Ĝi estas citrosimila kordinstrumento kun 13 kordoj, sed ĝusta nomo en tiu ĉi kazo povas esti "soo(箏)".

Ĝenerale estas populare lerni ludi "soon" ol kotoon. "Koto(琴)" estas alispeca kordinstrumento. Oni ofte miksas ilin.

日本エスペラント運動史研究に画期的な一冊

『日本エスペラント運動人名事典』

渡辺克義（山口県）

『日本エスペラント運動人名事典』〔以下、『事典』と略記〕（柴田巖・後藤斉＝編、峰芳隆＝監修、ひつじ書房、2013年、A5版672頁）は、田中貞美・峰芳隆・宮本正男共編『日本エスペラント運動人名小事典』〔以下、『小事典』と略記〕（日本エスペラント図書刊行会、1984年、新書版119頁）の改訂増補版に当たる一冊である。今回の事典では『小』の文字が消えているが、その理由は前著を質・量ともに凌駕していることから首肯できる。評者としては、『大事典』と名付けてもよかったのではないかと思う。とまれ『事典』は日本エスペラント運動史研究にとって画期的な一冊であり、上梓は慶賀の至りである。

『小事典』には、次のように書かれている。「こうした仕事をするためには少し時期が遅すぎたことを痛感した。（…）長い時間の経過は多くの活動家の姿をすっぱりとその影におおってしまった。たとえば JEA [Japan Esperantista Asocio「日本エスペラント協会」1906-26年—渡辺] 創立の中心人物、薄井秀一である。遺族の行くえはもとより、勤務先の読売新聞社でも戦災のため資料を焼失し、ついにその手がかりもつかめなかった」（3頁）。こうした理由から、『小事典』には「薄井秀一」の項はない。しかし、『事典』では薄井の記述に22行が割かれている（72～73頁）。

『事典』が『小事典』より多くのエスペランティスト（どちらの事典も物故者に限定している）を項目にあげていることは言うまでもないが（『事典』2867項目、『小事典』515項目）、それぞれの活動歴・著作・参考文献の記述も大幅に増えている。

2013.12

しかし、およそ事典・辞書の類に完全・完璧ということはありません。『事典』の盲点のひとつは、編者（後藤）も認めているように（vi頁）、国際的な活動（外国誌への寄稿など）が不十分であることである。Esperanto (UEA 機関誌) や Sennaciulo (SAT 機関誌) などは網羅的に見ておいてもよかったのではなからうか。もっとも、これは「言うは易く行うは難し」というものであろう。『事典』の編者・監修者が果たした学問的貢献は多大であり、その労はねぎらわれなければならない。

JEI 図書館に地方会会報や専門団体機関誌が大量に所蔵されているにもかかわらず、それらの利用が十分ではなかった、と後藤は認めている。「それらを咀嚼して系統的に記述に生かすことも、編者の能力を超えていた」（vi頁）とも記している。この点は次代のエスペランティストの課題となろう。若手研究者の奮起に期待したい。

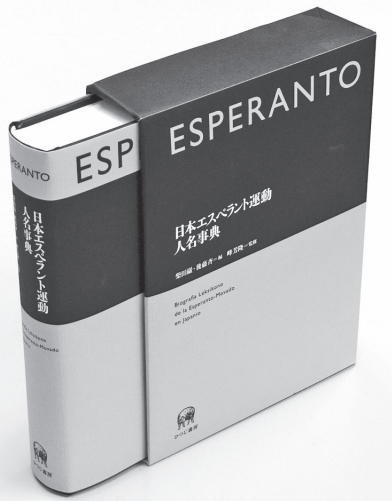
『人名事典』が出るまで

峰芳隆（兵庫県）

1984年に『日本エスペラント運動人名小事典』を出して以来の念願がなかった。しかも、当初予定していた改訂増補ではなく、内容の充実した見事な装丁の新しい大事典として。感無量である。

『小事典』は、本誌の連載をモバード新書として出版した500人余りの小冊子であった。誌面の制約で記述も簡潔であった。また参考文献が載っていない点には、資料としての信頼性と有用性に欠けるという指摘があった。そのため、いずれ改訂増補しなければならないと、資料や情報の収集を継続していた。しかし、当時の通信手段は郵便だけ。大学関係者であれば可能な大学図書館も利用できない。毎日のように手紙を書いたが、メール通信やネットで検索できるようになるなど、考えもできなかった。そのような、先の見通しがつかない状態で模索しているところへ助け船が現れた。千葉工業大学の柴田巖さんである。中垣虎児郎の調査を通

用性に欠けるという指摘があった。そのため、いずれ改訂増補しなければならないと、資料や情報の収集を継続していた。しかし、当時の通信手段は郵便だけ。大学関係者であれば可能な大学図書館も利用できない。毎日のように手紙を書いたが、メール通信やネットで検索できるようになるなど、考えもできなかった。そのような、先の見通しがつかない状態で模索しているところへ助け船が現れた。千葉工業大学の柴田巖さんである。中垣虎児郎の調査を通



じて知り合った柴田さんから全面協力の申し入れがあった。そこで、2006年の日本エスペラント運動百周年記念事業として改訂増補を出版すること、その編集を柴田さんに委託することをKLEGに決めてもらった。

柴田さんは、私が集めた資料を基に、対象者はもちろん内容についても、私が考えていた範囲をはるかに超える調査をされた。この間、エスペラントを独習されたようである。毎日のようにメールをやり取りしたことや、拙宅で2泊3日の合宿をしたこともあった。そして、予定の06年になったが、その段階ではまだ十分ではないということで、運動百周年記念の出版は断念したが、作業は続いた。ところが、08年柴田さんは肺がんの診断を受け、治療のために継続できなくなった。そこで東北大学の後藤齊さんに引き継ぎたいという相談があり、柴田さんの協力者であった後藤さんに快諾をいただいた。柴田さんは、10年1月、苦しい闘病生活のうちに亡くなられた。本当に心残り、残念だったと思う。

それから後のことは、私が本誌13年2月号に、さらに、後藤さんが同9月号に書いているので、繰り返さない。しかし、私の監修者としての仕事は、種まきをし、お二人の仕事を見守ったという微々たるものである。大きく育て上げた柴田巖さん、そして大事典として完成させて刊行への道筋を築かれた後藤齊さんが居なければ、いまだに日の目を見ないままだったはずである。また、KLEGでは、このように立派な装丁のものを出すことは、逆立ちしてもできなかったと、ひつじ書房にも深く感謝している。本当に、幸運に恵まれたと思っている。

ところで、この事典のテーマは、社会事象としてのエスペラント運動であり、運動の周辺人物も対象になっている。そのため、いわゆるエスペランチストでない人も含まれている。ザメンホフ百年祭賛助員・運動50周年賛助会員・第50回世界大会後援会発起人などとして運動を支援した人、JEAやJEIの会員ではあったがエスペラントの学習や活動は不明である人、さらにその作品にエスペラントのことを著述したという文学者等々である。したがって、それらの人たちがエスペランチストであったと早合点しないようお願いしておきたい。

(写真は、ひつじ書房提供)



エスペラント図書館を 訪ねてきました

西千寿子（京都府）

9月26日に、下関のエスペラント図書館を訪問してきました。

エスペラント図書館は、発起人である新田隆充さんに、下関市梅光学院大学からJR山陰本線梅ヶ峠駅前にある旧新館3階や旧本館の一室を貸与される形で実現しました。図書館の本体となる旧新館には、圧倒される数の書棚が備わっており、新田さんいわく「J E Iの図書館の5～6個分はあるんじゃないかな」。本にするとウン十万冊分？

わずか数カ月で、思った以上に全国のエスペランティストから贈与された書籍が集まっているし、なかには非常に貴重な珍しいものも含まれていますが、いかんせん人手不足もあり、登録作業に時間がかかることや、書棚へ並べるにもどのような形にするかなど、閲覧状態にもっていくには、まだしばらくの時間が要りそうです。

新田さんは、この場所は地震があっても津波には強いということで、エスペラント関係のものであればあらゆる書籍、資料、HDD、メモ書きさえも収集する大規模保管の場とし、教育・研究の場にもするという遠大な意気込みのほか、周辺空き家などを活用して合宿などの構想もと、語ってくれました。

「どんなささいなものにもかけがえのない資料価値があることを皆さんに知ってほしい」そうです。

というわけで、私も書き込みをした本や所属会の機関誌も届けましたが非常に喜んでもらいました。

また「結いの会」という個人や団体が加盟する協議会に参加しており、共にこの建物の恒常的な一般開放を目指すほか、大ホールを使用するコンサートや大会開催なども、もう彼の視野には入っています。

公共図書館から将来エス書籍を廃棄することがあったら提供してもらうための活動も始める予定などアイデアは湧くばかり。実際の活動手助けはもちろん、寄付も大歓迎。そして寄贈はもっと大歓迎。

私も一緒に果てしない夢を見せてもらいました。

行ってみようと思われたなら、まず新田さんへ連絡を。詳細は9月号p.13に掲載されています。

樽酒顛末記

木元靖浩 (奈良県)

この度の日本大会は、国単位の行事としては世界で最初に 3 ケタとなる記念すべき第 100 回大会である。そして、アジアのエスペラント界から推薦していただき、青年を中心とした将来を嘱望されるエスペランチストを招待する。また大々的に世界のエスペラント界に呼びかけ参加を促す。であれば日本の jubilea evento につきものあれをやらぬといけぬ。外国からの参加者に日本の祝い事に彩りを添えるあれを見せて、日本の文化を楽しんでもらわなければならない。つまり樽酒の蓋を木槌でかち割る鏡開きである。

そこで KLEG としてお祝いにこれを贈呈したいと考えた。JEI と共に日本の 2 大組織である一方の KLEG からこのような贈呈があつてこそ第 100 回大会は祝福される。しかし、このような五万円かかる樽酒を会員から集めた浄財から支出するわけにはいかない。大企業でも無い KLEG にとってはこれは冗費である。ならば、寄付を募ろうと考えた。しかし、目標金額に満たない場合のリスクは誰かが負わなければならない。そこで、KLEG 理事会において提案し、半ば無理やりに理事たちに発起人となってもらい、その負担においてたとえ寄付が集まらなくても実行することとした。結果として、発起人を含めて 24 人から寄付をいただき、実行することが出来た。

ornamo である鏡割りに更に ornamo を付けた。一合ますと三三七拍子である。三三七拍子は年末年始にテレビニュースでよく見る東京証券取引所のあることである。私はこれについては知らない人よりは知っているという自負がある。中学時代に運動会で先輩から教わった扇子を使って行う「舞」である。そこで扇子二つ、一つは日の丸、一つは無地の扇子を準備し、無地の扇子にはマジックで verda stelo を描いた。そして羽織もタスキも準備した。

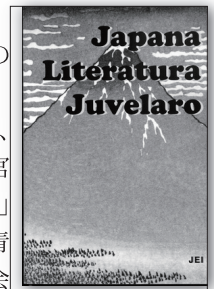
さて当日、壇上にて unu-ritmo, du-ritmo kaj tri-tri-sep-ritmo の発声で始めた。「一拍子、二拍子、並びに、三三七拍子」の発声のつもりである。私の扇子の舞に応じて参加者全員が見事に手拍子の調子を合わせて一拍子、二拍子、並びに三三七拍子が行われた・・・訳ではなかった。聴衆においては慣れないことでもあり、練習をしたわけでもない。私よりも知らない人にとっては無理もない。グダグダになった二拍子の中から説明を加え、やり直して無事演じ終えた。

次に本番、鏡割りである。このようなイベント用の外見二斗樽、内容は上げ底の一斗の酒が入った樽を、鈴木恵一朗 JEI 理事長、石川智恵子大会実行委員長、Osmo Buller UEA 事務総長、そして贈呈者代表の田熊健二 KLEG 会長の 4 人により木槌で鏡割りが行われた。そして、一合ますの乾杯により開宴となった。我々の贈呈した一斗の酒は、その樽の周りに歓談の輪を広げ、そして飲みつくされた。

"Japana Literatura Juvelaro" の収録作品

第 100 回日本大会を記念して出版された表題の日本文学作品集に収められた作品は次のとおり。古代から近代まで多彩な作品が収録されている。[] 内は訳者。

「古事記」(抄) [工藤尚]、「今昔物語」(抄) [島谷剛]、松尾芭蕉「奥の細道」[佐々木照央]、上田秋成「雨月物語」(抄) [小野忠人]、「誹風柳多留」(抄) [柴山純一]、与謝蕪村「春風馬堤曲」[宮本正男]、福沢諭吉「福翁自伝」(抄) [石野良夫]、島崎藤村「詩集自序」[土居智江子]、「若菜集」から詩 3 編 [やましたとしひろ・宮本正男]、森鷗外「杯」[皆葉滋]、芥川龍之介「羅生門」[青山徹]、「南京の基督」[穴戸圭一]、「山鳴」[相田清]、鈴木三重吉「湖水の女」[相田清]、会津八一「鹿鳴集」から短歌 5 首 [柴山純一]、菊池寛「形」[広高正昭]、萩原朔太郎「月に吠える」から詩 5 編 [柴山純一]、釈超空「海やまのあひだ」から短歌 10 首 [柴山純一]、宮沢賢治「春と修羅」から詩 1 編 [柴山純一]、豊島与志雄「不思議な帽子」[相田弥生・岩谷満・小山武・村田和代・中川輝男・柴山紀子・柴山純一]、八木重吉「貧しき信徒」から詩 1 編 [やましたとしひろ]、金子みすゞの詩 2 編 [渡辺克義・堀田有里]、寺田寅彦「数学と語学」[松木義信]、「科学者とあたま」[中野賢二]、中原中也「在りし日の歌」から詩 2 編 [柴山純一]、竹久夢二「ある眼」[大平丈郎]、牧野信一「繰舟で往く家」[森田明]、立原道造の詩 5 編 [間宮緑]、岡本かの子「巴里の息子へ」[染川隆俊]、上村松園「今日になるまで」[石野昌代]、高村光太郎「智恵子抄」から詩 1 編 [柴山純一]、武田麟太郎「雪の話」[田井孝]、久生十蘭「母子像」[広高正昭]、住井すゑ「折れた弓」[藤巻謙一]





La 101-a Japana Esperanto-Kongreso en Obama

La 11-a, 12-a, 13-a de oktobro, 2014

第101回日本エスペラント大会 (福井県小浜市)

日時：2014年 10月 11日(土)、12日(日)、13日(月・祝)

会場：小浜市中央公民館、小浜市働く婦人の家、小浜商工会館(小浜商工会議所)
(いずれも小浜市大手町) TEL：(市外局番0770) 左から53-1111, 52-7002, 52-1040

主催：一般財団法人日本エスペラント協会、福井エスペラント会

協力：一般社団法人関西エスペラント連盟、北陸エスペラント連盟

後援 (申請予定先)：独立行政法人国際交流基金、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、
一般社団法人日本ペンクラブ、福井県、福井県教育委員会、福井県国際交流協会、
小浜市、小浜市教育委員会、NHK、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、
中日新聞、福井新聞、日刊福井、福井放送、福井テレビ、チャンネルO。

エスペラント界にとっては記念すべき第100回日本エスペラント大会が東京で盛大に行われた後を受けて、2014年、日本におけるエスペラント運動の新しい世紀の幕開けとなるべき第101回の日本大会を、日本のほぼ中央で日本海に面した人口約3万の小都市、福井県小浜市で行います。北陸地方では過去に富山県(1961)、石川県(1975, 1998)での開催実績がありますが、福井県では初めてのことです。小浜市は県の西端に位置する交通の不便なところであり、地元の働き手もきわめて少なく、行き届かないところがあると思いますが、“ささやかながらも心のこもった大会”として参加者の記憶に残るようなものにしたいと思っております。

ここ小浜市は、古代にあっては「御食国(みけつくに)」とよばれ、都(みやこ)の食料を供給した地であり、今も「食のまちづくり」を推進しているところでもあります。また、古代から朝鮮半島との人々の交流の地であり、100年前には嵐に遭い遭難した半島からの93人の漂流民を救助した歴史の残る地でもあります。そして現代は、原発の集中する若狭地方にあって、原発もなく豊かな自然の残る土地でもあります。

この大会に集うエスペランティストが、国際語エスペラントの目指すべき理想としての国際交流を深めるとともに、未来に向けていろんなことを語り合っほしい、そんな願いを込めて小浜大会を開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(第101回日本エスペラント大会実行委員長、福井エスペラント会代表 北川昭二)

〔大会テーマ〕 “海を越えて響き合う” ―食と自然と友好と―

海は、地球上に生命をもたらした源であり、今も大切な食べ物の供給地でもある。この、自然そのものといっている海が、時に人々の前に立ちはだかることもあるが、人々は困難をのり越えて交流を続け、豊かな生活と文化を築き上げてきた。すべての世界につながっている海。それを越えて、世界中のすべての人びとが、心を通わせ響き合い、言葉をつくして語り合いたい。

〔大会記念品〕 絵本・エス訳『風の吹いてきた村』（ソフィクション・韓国船遭難救護の記録）

〔主なプログラム〕（予定）

10月11日(土) 大会前観光/午前、受付/13:00～、分科会/13:30～、親睦の夕べ/16:30～

10月12日(日) 開会式・公開番組/9:00～、分科会/13:30～、民宿ごとの懇親会/18:00～

10月13日(月・祝) 分科会・公開番組・閉会式/9:00～12:30、 大会後観光

〔公開番組〕 講演1「食の安全（仮題）」食文化研究家 磯部晶策 氏

講演2「韓国人と日本人の友好」世界エスぺラント協会役員 Lee Jungkee 氏

鼎談「若狭の自然とエネルギーの未来」京大原子炉実験所助教 小出裕章<交渉中>

上智大学教授 木村護郎クリストフ、京都大学大学院生 西野ひかる の各氏

〔観光〕

〔大会前〕 JR利用の方は、下記各駅からバスで観光地に寄りながら小浜へ入れます。

A: 北陸線・敦賀駅12:00発:レインボーライン。 B: 湖西線・近江今津駅10:40発:熊川宿、明通寺。 C: 小浜線・東舞鶴駅11:30発:五老岳、高浜原発遠望、一滴文庫。

〔大会中〕 会場内に案内所（11:00～13:00）。 蘇洞門遊覧、小浜市内の古寺めぐりなど。

〔大会後〕 D: 東尋坊、永平寺、（芦原温泉泊）。 E: 一乗谷朝倉遺跡、萌叡塾、永平寺、（あまごの宿・泊）。 近くに恐竜博物館あり。 DE とも 翌朝解散（最寄りの駅まで便あり）。

F: 萌叡塾（自給自足の生活塾）体験。 先着8名。 行きはEコースに便乗（交通費4,000円）。

宿泊費7,000円は萌叡塾へ直接お支払ください。 **観光の受付は8月末まで**

〔大会会場〕



JR小浜駅から中央公民館（主会場、受付・Salonoあり）まで徒歩8分。

〔連絡先〕

・日本エスぺラント大会事務局
一般財団法人

日本エスぺラント協会内

162-0042 東京都新宿区早稲田12-3

メール: jek14o@jei.or.jp

お問い合わせは主にメールで

TEL: 03-3203-4581

FAX: 03-3203-4582

ホームページ: <http://www.jei.or.jp>

・現地連絡先: 北川昭二

917-0241 福井県小浜市遠敷7-113-2

TEL: 0770-56-0189, 090-7087-9793

・参加申込みは、[郵便振替 00100-4-400372 日本エスぺラント大会] へ。
「振替」到着後、2週間をめどに領収書（はがき）をお送りします。

◆大会参加費など

(単位は円)

参加費	期限→	3月末	7月末	8月～	備考 (○ 印 記念品・報告書あり)
① 一般		5,000	6,000	7,000	○
② 障害者		3,000			○
③ 家族		2,000	3,000	4,000	記念品希望者は①でお申込みください
④ 青年・留学生		2,000	3,000		○ (青年は2014年内に30歳になる人まで。生年月日を記入!) (留学生は、日本に留学中の外国籍の人)
⑤ 青年・留学生			2,000		
⑥ 中学・高校生		1,000	1,500		単独参加者の場合は○あり
⑦ 小学生以下		無料			
⑧ 外国から			2,000		○ 高校生以下は⑥, ⑦でお申込みください
⑨ 不在参加			3,000		○ 実参加へ切替の際は申込日の額との差額を追加で
⑩ 記念写真			1,000		最終日にお渡します。各自お持ち帰りください。
⑪ 昼食 12日(日)			950		菜食可。近く(徒歩5分)に「食のまつり」屋台村あり
⑫ 宿泊A 11日(土)			8,000		民宿 (1泊2食)
⑬ 宿泊B 12日(日)			12,000		民宿 (1泊2食)【当日は懇親会(飲料代別)参加が条件】
⑭ 懇親会のみ参加			6,000		会場は阿納の民宿 (飲料代別)
⑮ 大会前観光ABC		各コースとも 3,000			希望コース (A/B/C) を記入! 参加者少数は中止
⑯ 大会後観光 D			25,000		入場料等含む。少数中止。芦原温泉の一流ホテル泊
⑰ 大会後観光 E			17,000		同上。川魚旅館泊
⑱ 大会後観光 F			4,000		この金額は、萌叡塾(ほうえいじゅく)宿泊者の交通費
⑲ JEI学力検定試験		1級 5,000 / 2級 3,000 / 3級 2,000 / 4級 1,000 / 新テスト 500			

◆取消し条件 ①-⑨の参加費は原則としてお返しできません。⑩-⑲の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。ただし、観光が中止の場合は全額返金します。

【宿泊斡旋】受付は8月末まで

今回は、大会として宿泊を斡旋するのは「阿納(あのう)地区の民宿」のみで、懇親会は全体では行わず、⑬2日目(12日)の夕食時に民宿ごとに行います。従って、⑫1日目(11日)の夕食は普通食ですが、2日目の懇親会は宴会食(ふぐ料理、船盛付き)となります。懇親会の代金(乾杯飲料代を含む。追加飲料代は別途)は宿泊代に含まれています。民宿を希望する方は申込書の必要個所にチェックを入れ、参加費とともに費用を支払い申し込んでください。なお、宿泊は他で懇親会のみ参加⑭も受け付けます。民宿の申し込みは8月31日締切。民宿割り・部屋割りは実行委員会にお任せください。(ただし、民宿で同宿希望の方はその旨必ずご記入下さい。また、今回は家族単位の部屋は作りません)。会場・民宿間(車で15分)の交通は地域バス(1回200円)と大会準備バス(前に準ずる)です。詳細は続報で。

阿納地区の民宿以外で、小浜市街地・大会会場近くのホテルや、別地区の民宿を希望される方は、今後のお知らせやインターネットを参考に各自で予約をしてください。

La 101-a Japana Esperanto-Kongreso en Obama en la gubernio Fukui

Dato: la 11-a, 12-a kaj 13-a de oktobro, 2014

Kongresejo: La centra civitana domo, La domo por laborvirinoj, La komerca domo.

Kongresa Temo: *Ni akordu trans la Maro* – *manĝo, naturo, amikiĝo* –

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

La 11-an de oktobro (sabate)

Antaŭtagmeze-Posttagmeze: Antaŭkongresetoj.

Posttagmeze: Akceptejo, Fakkunsidoj.

Vespere: Amika Vespere.

La 12-an de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro, Komuna fotado, Publika Prelego, Fakkunsidoj.

Posttagmeze: Publika Prelego, Fakkunsidoj.

Vespere: Bankedo ĉe vilaĝloĝejoj.

La 13-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj, Publika Prelego, Ferma Soleno.

Posttagmeze: Postkongreso.

Memoraĵo: Bildlibro "La vilaĝo, al kiu la vento blovis".

Kotizoj: Eksterlandano venonta el ekster Japanio: 2 000 enoj.

Loĝanto plenaĝula en Japanio: 5 000 enoj (ĝis la 31a, marto, 2014),

6 000 enoj (ĝis la 31a, julio, 2014), 7 000 enoj (post la 1a, aŭgusto, 2014).

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, familiano, junulo, alilanda studanto, lernanto, morala partopreno), demandu al Japana Esperanto-Instituto (vidu sube).

Loĝado: jek14o@jei.or.jp / vilaĝloĝejoj rezerveblaj. Aliaj hoteloj prezentotaj.

Antaŭkongresetoj: buse el stacidomoj Tsuruga, Higashi-Maizuru aŭ Oumi-Imazu.

Postkongresoj: planataj.

Foto: 1 000 enoj.

Lunĉo: la 12-an de oktobro, 950 enoj. Alie, proksime okazos la Festo de Manĝo.

Pri la urbo Obama, vidu: [https://eo.wikipedia.org/wiki/Obama_\(Japanio\)](https://eo.wikipedia.org/wiki/Obama_(Japanio))

Pri plidetalaj informoj, havu kontakton kun **Japano Esperanto-Instituto.**

JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3, retadreso: jek14o@jei.or.jp,

telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582

retejo: <http://www.jei.or.jp>

ポーランドでの体験

市川晋平(京都府)

Saluton, geamikoj!! こんにちは、新米エスペランティストの市川晋平です。この旅行記、僭越ながらかれこれ3度目を迎えます。楽しんでいただけると幸いです。

前はポーランドのヴロツワフという町にて、Anna, Russ 夫妻のところにお世話になったお話をさせていただきました。その後はバスに乗ってチェコへと向かいました。チェコの首都、プラハでの観光を済ませたのち、バスに揺られて、プラハから南へ100kmほどのところにあるピーセクという小さい町へ。

去る6月30日~7月3日までの間、このピーセクという町に住むエスペランティスト、ドヴォジャクさん一家の家にお世話になりました。ご主人のVladimirさん、奥さんのPavlaさん、娘のEditaさんの3人で暮らしており、なんと家族全員がエスペラントを話すエスペラント一家です。昔から親しんでいるのか、娘のEditaさんもエスペラントをとても流暢に話すので驚きました。

そしてさらにこのときは、偶然シンガポールからの青年エスペランティストのRay君も同じくPasporta Servoを介してVladimirさんと連絡を取っていたらしく、観光の際は行動を共にしました。このような偶然の出会いもエスペラントの醍醐味でしょうか。そして、エスペラントという一般的に見

ると珍しい言語を共有しているからか、こんな状況でも彼とはすぐに打ち解けられました。これもまたエスペラントの醍醐味の一つです。

まずはピーセクの町を案内してくださいました。ここピーセクにはチェコで最古の石橋があり、小さい町ながら、それを目当てに来る観光客も多いのだとか。印象としては、かの有名なプラハのカレル橋のミニチュア版、といった感じだったのですが、そのこじんまりとした落ち着いた感じがむしろ僕は気に入りました。

他にも、チェコの名物料理クネドリキーの美味しいレストランや、静かな並木道、景色のきれいな場所などをいろいろと紹介してくださいまして、とてもよい経験になりました。

後は、近隣のチェスキーブディヨヴィツェという町にある、ブドヴァルという会社のビール工場の見学に連れて行ってくださいました。チェコといえば、世界一の国民一人あたりのビール消費量を誇るビール大国です。そんなわけでビール工場に行きたい！とわがまを承知で言ってみましたが、快く連れて行っていただいたというわけです。こんなわがまも叶えてくれる、人々の寛大さ、優しさも、もちろんエスペラントの魅力です。まあわがまばかり言うのはあまり推奨は致しませんが…ビールの試飲もバッチリ堪能しまして、ビール工場見学はもちろん大満足でした。

また、家では、妻のPavlaさんがギターを弾き、エスペラントの歌と一緒に歌ったり、また別の日には娘のEditaさんと彼女のお友達、Ray君の4人で

バーをはしごしたりしておしゃべりをしたりと、色々と稀有な体験をさせていただきました。明るく、親切な家族で、とても楽しく過ごすことができました。

ここまで読まれて、読者の方々もそろそろ『自分もエスペラントで旅がしてみたい!』とお思いではないでしょうか。とても素晴らしい体験ができることは、保証いたしますので、是非勇気を持って飛び出してみてください。そして、この旅行記もまだまだ続きますので、またまた、よろしくお願ひ致しますね。



ピーセクにて

Vortaro por Lernantoj — Laŭlum

135

salti: Subite sin ĵeti supren aŭ foren:

*"Se infan' ne saltas,
ĝi ne bone fartas,"
diras la proverbo,
al ni, kiuj vartas.*

saluti: Montri al iu sian respekton, estimon per gesto aŭ vortoj.

*"Saluton!" diras li ĝentile.
"Saluton!" diras ŝi simile.
La vivo de l' popolo iras
Senĝene, pace kaj trankvile.*

sama: Ne alia, identa, ne alispeca.

*Johano estas lia nomo.
Li estas diligenta homo.
La patro same laboremas,
Kaj loĝas en la sama domo.*

sana: Bone, normale funkcianta.

*En vintro prenu vi rafanon,
Zingibron prenu en somero.
Tiel vi tenos vian sanon
Kaj fartos bone sen sufero.*

sango: La ruĝa fluaĵo en la korpo de homo kaj bestoj.

*"Maldolĉa por la lango,
Saniga por la sango."
Medikamenton prenu,
Ne palu via vango.*

sankta: Alte estimata, netuŝebla pro religia konsidero aŭ rezervata por Dio.

*En hejmoj de la ĉinaj kamparanoj
Kaj iuj el loĝejoj de japanoj
Troviĝas sankta tablo, aŭ altaro,
Por kulto al la prafamilianoj.*

sapo: Objekto solvebla en akvo por pli bone lavi.

*Por bone lavi uzu sapon,
Ĉu lavi vestojn aŭ la kapon.
La sapo estas tre utila
Por purigado pli facila.*

2013.12

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La

第 88 回九州エスペラント大会

来年の九州大会は5月末に熊本で開催。以下は、現在までに分っている大会の内容で、開催までに変更があると思われます。

期日 2014年5月31日(土)～6月1日(日)
主催 熊本エスペラント会、九州エスペラント連盟
会場 水前寺共済会館グレースシア(中央区水前寺1-33-18 TEL 096-383-1281。道順: JR 熊本駅下車⇒市電; 水前寺公園下車⇒徒歩5分⇒会場。高速: 熊本IC⇒熊本市街で水前寺公園を目標に共済会館「二次目標は: 鳥居」を探して下さい)

大会参加費 4,500円(不在参加者、障害者、家族、学生は3,000円)、宿泊費 5,500円(5人部屋4,700円)、朝食費 1,000円、昼食費 1,000円、記念写真代 1,000円、パンケード代 5,000円(金額には消費税増額分を含みません)

1 仮題「DGE (Disvastiga Grupo de Esp.) と私」温泉川美喜雄

2 「福島に住んで一主婦として思うこと」伊藤弘子

3 「冷え取り健康法」渡辺栄子

4 パネルシアター「笠地蔵」中山久仁子(昼食)

5 「歌の交流」韓国の歌人 Nema、庄山美喜子

申込連絡先: 熊本エスペラント会
(〒864-0025 荒尾市高浜 83 保村 翠、TEL & FAX 0968-68-5451) 郵便振替口座番号 01920-7-15379
事務連絡先: 木野榮二(〒869-1101 菊池郡菊陽町津久礼 2268-16、TEL&FAX 096-232-1818)

Komuna Seminario 北京で12月20日から

今年のKSの開催地は北京で12月20日から22日まで開催される。合宿のテーマは、「Kia maniero estas taŭga por kontaktoj inter la junularoj en Azio?»(アジアで青年たちが連絡をとりあうには、どのような方法が望ましいか)。[← Shi Guang]

KER 中級 (B2) 筆記試験対策セミナー

来年(2014)6月にエスペラント版 KER 試験が実施される。KER(Komuna Eŭropa Referenckadro) 試験は、EUが決めた「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠」に基づく外国語での

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La
コミュニケーション能力をはかる試験。

この試験を受ける人のために、関西エスペラント連盟の教育部は「KER 中級 (B2) 筆記試験対策セミナー及び模擬試験」を 2014 年 1 月 25 日 (土) に、京都エスペラント会館で開催する予定。

10 時～ 12 時 中級 (B2) 試験解説

13 時～ 16 時 中級 (B2) 模擬試験

講師：相川節子 (2012 年に上級の C1 に合格)

受講料：KLEG 会員 2,800 円、一般 3,000 円 (当日徴収)。申込期限：2014 年 1 月 15 日

申込先：関西エスペラント連盟教育部宛

詳細は次号。

2014 年関西大会の公開番組決まる

2014 年 5 月 31 日と 6 月 1 日、姫路市で開催される第 62 回関西大会の公開番組がほぼ決定した。野田淳子さんのミニコンサート。日本語講演は橘弘文さん「柳田国男とエスペラントの人びと」。エスペラント講演はアレクサンドラ綿貫さん。テーマは未定。日本語通訳は綿貫健一郎さんの予定。ポーランド出身のアレクサンドラさんは各種学習書の音声版の吹き込み者として知られている。 [←はりまエスペラント会]

東かがわで第 3 回世界人形博覧会

東かがわ市ニューツーリズム協会が毎年開催している世界人形博覧会へ今年は 15000 人が訪れた。全世界のエスペランティストの協力で集められた 44 개국・800 体の民族衣装の人形が展示され、新聞などで紹介された。

ロンド・コルノがミニ講演会開催

ミニ講演会「チェコのテレジーン強制収容所—エスペランティストのベトル少年もいました—」を、9 月 19 日 (木) 夜に東京のエスペラント会館でロンド・コルノが開催した。26 人参加。そのうち 12 人は非エスペランティスト。質疑応答も活発で、2 時間も、あっという間だった。

ロンドの活動

宇治城陽

例会にイギリスからお客様、Rowland Goodbody さん、20 歳。9 月 18 日の南宇治コミセン例会に出席。日本語もエスペラントも上手で、住んでいる Bath の

町についてたくさん話した。 [←相川節子]

高槻エスペラント展

10 月 25 日 (金)、26 日 (土)、高槻市エスペラント協会の展示会が開催された。友好都市の常州市との交流活動などについて展示した。 [←後藤斉]

各地のザメンホフ祭

宇治城陽・近江・京都

11 月 30 日 (土) 13 時半～ 16 時。南宇治コミュニティセンターでエスペラント祭として。参加費 300 円。

大阪・堺・奈良

12 月 1 日 (日)。奈良市立西部公民館 (近鉄学園前駅の近くの西部会館 4 階～ 6 階) で。

池田・豊中・吹田

12 月 8 日 (日) 13 時半～ 17 時。池田駅前。新作狂言など。参加費 500 円。終了後忘年会。

神戸・はりま

12 月 8 日 (日) 13 時～ 17 時。神戸青少年会館 6 階工作室。参加費は 500 円。忘年会は会館隣の中華料理店太陽楼にて。なお、神戸エスペラント会の新年会は 1 月 12 日 (日) 赤田会員宅 (クガ教室) で。

高槻・茨木・枚方

12 月 15 日 (日)。茨木市で。

名古屋エスペラントセンター

12 月 14 日 (土) 15 時から同センターで。会費第一部 (15 時より) 1000 円。第二部 (17 時半より) 3500 円 (食事付き。予約が必要)。

主な内容は、第一部、森田明氏「日本青年学生連盟」の思い出。第二部、懇親会、アコーディオン演奏。

連絡先は、猪飼吉計 (ikaiyosikazu@xj.commufa.jp 0567-95-3341、090-9191-3339)

福岡エスペラント会

12 月 15 日 (日) 16 時～ 20 時。福岡学生会館。内容：会員 4 人の話、ザメンホフの講演から朗読、言葉遊び、歌、紙芝居。 [←武藤たつこ]

香川エスペラント会

12 月 15 日 (日) 13 時半より、アイパル香川第 1 会議室で。主な内容：アティリオ氏「アルゼンチンについて」(通訳付き)、三好鋭郎氏、小阪清行氏。連絡先は kosaka_kiyoyuki@hotmail.com [←小阪清行]

愛媛エスペラント会

12 月 8 日 (日) 12 時～ 14 時。総会を兼ねて。松山市一番町の国際ホテル松山 1 階レストランで、懇親を兼ねた昼食会、情報交換など。

連絡先：電話 089-921-0950 西谷照美

メール：nakatsuka@mtg.biglobe.ne.jp 中塚公夫

Vortkruca enigmo

Redakcio

Vicigu adekvate 8 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros ion, kio troviĝas en budhismaj aŭ kristanismaĵoj temploj. Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de decembro en 2013. Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1	2	3	4		5	6	7	
8		*			9	*		
10			11					12
13							14	
15			16	17		18		*
		19			20		21	
					*			
	22			23		*		
24			25				26	
		*						
		27				28		*

Horizontale: 1. "En", "de" kaj "al" estas ~oj. (x) 8. Streki ruĝan ~on ĉe korektenda frazo. (x) 9. Pronomo montranta "iu" aŭ "ĝenerale homoj".(x) 10. De loko ~ loko.(x) 11. Forigi ĝenajn herbojn en ĝardeno ktp.(x) 13. Kruda petrolo.(x) 14. Patro de patro aŭ patrino.(x) 15. Sufikso, kiu havas malan signifon de "-eg".(x) 16. Double kvar.(x) 18. ~ la mondo iras forta voko (el "La Espero").(x) 19. Salo konsistas el natrio kaj ~o.(x) 21. Monbileto estas el papero kaj mon~o estas el metalo.(x) 22. Kiom ~ jaroj vi havas?(x) 23. Nuanco de voĉo aŭ parolo. (x) 24. Refreŝigi la aeron de ĉambro ktp.(x) 26. Vorto esprimanta "vere", "certe".(x) 27. havi aŭ konservi kaj ne ellasi.(x) 28. Pavo estas ~a birdo.(x)

Vertikale: 1. Venuso, Marso kaj la tero estas ~oj.(x) 2. Universala Esperanto-Asocio 2013.12

havas oficialan ~on kun Unuiĝintaj Nacioj kaj Unesko.(x) 3. interne de.(x) 4. Pafilo malgranda.(x) 5. Nutristino ~as la infanon de sia mastro.(x) 6. Kolora likvo por skribi, presi aŭ printi.(x) 7. Pronomo por nomi alparolaton, malofte uzata.(x) 12. Parto de urbo.(x) 14. Difinita parto de tersurfaco.(x) 17. Materialo por fadeno kaj ŝtofo, ofte uzata por subvestoj kaj litajtoj.(x) 19. "Sankta Lucio" estas popol~o de Italio.(x) 20. Li ludis gravan ~on en teatraĵo. (x) 22. Veturi ~ Kioto al Tokio.(x) 24. "Kiel ~ fartas?" "Tre bone, dankon!"(x) 25. Trinkaĵo vaste amata en la mondo.(x) 26. "Kiam vi ellitiĝis hodiaŭ?" " ~ la sesa horo."(x)

La solvo al la oktobra enigmo:

GALAKSIO.

La ĝustan solvon donis 9 legantoj: CA, 武藤たつこ, 荻原克己, Kacu, 中津正徳, 水渡

S	E	K	R	E	T	A	R	I
I	G	N	O	R	R		Z	
S		A		C	I	G	N	O
M	E	B	L		D	E		L
O	N		E	K		N	I	
L		K	O	N	S	T	A	T
O	L		N	E		I		A
G	U	M		D	A	N	U	B
I		I	E		Ĝ		S	I

篤子, 田原正昭, 西千寿子, 中村文雄

楽しい作文教室 2月号課題 (12月20日締切)

- ①彼は好感の持てる青年だ。
 - ②彼女は穏やかな顔をしていた。
 - ③彼らは椅子に座った。
 - ④彼女はコーヒーの代わりにお茶を飲んだ。
- (ヒント) 好感の持てる simpatia、青年 junulo、顔 vizaĝo、~の代わりに anstataŭ. kvietan を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

Mikspoto (当欄は敬称略)

☆ 10月13日の朝日新聞朝刊神戸版「神戸市長選立候補予定者に聞く」の中で貫名ユウナ候補について「神戸外大教授だった父(注)が付けた名前(ユウナ)は、エスペラント語で『若さ』、『青春』の意」と。

(注) 神戸エスペラント会元会長の貫名美隆 [←中道民広]

☆ 寺島俊穂『現代政治とシティズンシップ』(晃洋書房, 10月)にエスペラントについての言及がある。(p.199~200, p.203)。

☆ 日本平和学会の『日本平和学会 ニュースレター』第20巻第4号(2013年9月15日発行)の24~25ページに6月16日に大阪大学豊中キャンパスで開かれた日本平和学会春季研究大会の非暴力分科会での寺島俊穂の研究発表「エスペラントと言語民主主義」とそのあとの討論の概要。 [←以上2件寺島俊穂]

☆ 釜石線駅名標に「エスペラント語」表示。10月26日の読売新聞によると、JR盛岡支社は釜石線(花巻—釜石駅)の全24駅名標を一新すると発表した。蒸気機関車「SL銀河鉄道(仮称)」の今冬以降の運行開始に合わせ、宮沢賢治が熱心に使った国際語「エスペラント語」による各駅のイメージ名も表示する。11月から順次設置し、年内には全てそろそろ。同線は1995年に「銀河ドリームライン」の愛称が決まり、各駅にエスペラント語によるイメージ名もつけられた。新駅名標は花巻駅ではČielarko(虹)にあわせて虹、遠野駅ではFolkloro(民話)にちなんで子どもがかやぶき屋根の民家の周りを走る様子をあしらう。 [←後藤斉]

★ 10月27日、北京エスペラント会の月例会で白井裕之が宮本正男(1913-1989)生誕100年を記念して講演。運動と文学における多面的な貢献を詳しく紹介。出席16人。 [←El Popola Ĉinioのサイトから]

☆ 10月24日付西日本新聞夕刊に「エスペラント 灯守れ 世界100万人の国際共通語」と大きく紹介記事。福岡エスペラント会例会の写真も。 [←武藤たつこ]

☆ 11月2日付北海道新聞夕刊「小学生新聞大図解」の宮沢賢治の紹介の中に「イーハトーブ 岩手をエスペラント風にもじった賢治の造語」と。エスペラントについても、注で解説。二葉亭四迷が教科書を刊行、新渡戸稲造も擁護したと。 [←濱田國貞]

(編集部注)「イーハトーブがエスペラント風」という説明は、広く流布していますが、事実ではありません。

☆ 10月25日付福井新聞嶺南欄に「平等、平和を目指す人々の言葉 エスペラント語広がり期待」と紹介。

「小浜の北川さん 来秋地元で全国大会 実行委員長務める」として大きく写真も掲載された。 [←北川昭二]

☆ 「唐丹希望基金2013」Mail通信11月号に1)川崎エスペラント会制作の第100回日本大会記念Tシャツの売り上げの一部(1枚につき100円)と同大会公開コンサートなどでの募金箱の50084円を「唐丹希望奨学金」に送金。2)『世界の旅人堀さんのエスペラント・気ままエッセー3』—東日本大震災被災地(岩手・宮城・福島)訪問記—の紹介。3)「復興を考える東北・三陸ツアー」(釜石線、岩手では原発誘致をはねかえしたこと)など。

☆ 11月3日付しんぶん赤旗の読書面に『日本エスペラント運動人名事典』の紹介記事 [←後藤斉]

DVD版日本語エスペラント辞典の検索ソフトに一部間違い。購入者を対象に修正プログラムが、<http://esperanto.mond.jp/index.html> で配布されてる。

KLEG 事務局だより

★本誌La Movadoにご寄稿いただいた方には本誌2部を、またSalono欄にご投稿いただいた方には1部を贈呈させていただきます。

楽しい作文教室(30)成績

16人の方から応募がありました。()内は留意事項です。
うん、良いね: Dallengji, Eiko, ヒー坊, CA(sajnas), alfa, AG, ikona, Čielarko, Fumi(varmeĝo), M.H.
良いね: Drako(綴り), Yo(dislĉutis), Ivajo(la hejmen), T.Ku(por)
もうひといき: 水渡 (varmitiĝo), festo(reviniŝo).
がんばろう: 無し

坂本イク子(さかもと いくこ)さん。10月23日死去。80歳。長く入院していたが、穏やかな最後だった。池田エスペラント会会員。故坂本昭二さんの夫人。夫の死去後も積極的にエスペラント運動に参加した。

鳥原茂之(とりはら しげゆき)さん。10月20日死去。97歳。日本エスペラント協会誌「エスペラント」の今年の表紙絵を担当。亡くなったとき宮崎県の高鍋町美術館で開催中だった企画展「鳥原茂之の世界」にも同誌が展示されていた。宮崎市内のひまわり画廊の主人で、画家瑛九のいここにあたる。

Indekso de La Movado(2013)

数字は1月号(743号) - 12月号(754号)を示す
*tute en Esperanto

日本大会

第100回日本エスペラント大会 Informilo	1,5,8
第100回日本エスペラント大会ヘルパント募集	10
第100回日本エスペラント大会に719人	12
第100回日本エスペラント大会樽酒顛末記	木元靖浩 12
第101回日本エスペラント大会 Informilo	12

関西大会

アジアに目を向けて和歌山で関西大会	大会実行委員会 1
第61回関西エスペラント大会 Informilo	2
第61回関西大会へご参加を	大会実行委員会 4
sajaka kaj esperantisto*	so gilsu 5
来年の関西大会は姫路で開催へ	5
来年の関西大会の準備始まる	6
第61回関西大会最新情報	大会実行委員会 5,7
第61回関西大会エスペラント大会開かれる	8
分科会と並行番組	8
絵本「稲むらの火ー浜口梧陵のはなし」を再版して	江川治邦 9

Kansaja Kongreso Interesis Min*

第62回関西大会実行委員会	SUN Mingxiao 9,11
---------------	-------------------

中国四国大会

第13回中国・四国大会報告	中塚公夫 1
中国・四国大会、11月広島で	5
第14回中国・四国大会	7
中国・四国エスペラント大会続報	9,10,11

九州大会

九州大会案内	4
第87回九州エスペラント大会	深堀義文 7
第88回九州エスペラント大会	12
青年の活動	

Raporto pri la 31-a Komuna Seminario*

	Sinya MURAMATSU 3
--	-------------------

KLEG 青年奨学金を2人に

La 1-a Indonezia Esperanto-Kongreso*	Ĉe Juna 6
--------------------------------------	-----------

はじめての体験

	市川晋平 6
--	--------

ヨーロッパ旅行記

	市川晋平 8,10,12
--	--------------

Somera Esperanto-Studado 参加記

	市川晋平 9
--	--------

Komuna Seminario 北京で12月10日から

	12
--	----

林間学校 (Friska Lernejo)

Floranta amikeko en Friska Lernejo*	Songanta 1
-------------------------------------	------------

9月の連休に開催

La 45a Friska Lernejo	7,9
-----------------------	-----

第45回林間学校 台風の修道院で

Frukta Friska Lernejo*	ARASE Sayuki 11
------------------------	-----------------

国内活動報告

アジアの運動を支援しよう!	KLEG 国際部 2
---------------	------------

Skize pri nia movado en 2012*	NAKAMITI Tamihiro 3
-------------------------------	---------------------

2013.12

KLEG 奨学金を受けて

Tondro el blua ĉielo*	後藤斉 9
-----------------------	-------

国外活動報告

Verda Majo 生誕100年記念集会	1
-----------------------	---

Ni kunlbore solvis problemojn unu post aliaj!*	2
--	---

Sukcese okazis la 10a Himalaja Renkontiĝo en Nepalo*	Bharat K Ghimire 5
--	--------------------

Esperantista vivo estas mia dua vivo*	SUN Mingxiao 5
---------------------------------------	----------------

Indonezia Esperanto-Asocio 設立総会に立ち会って	松本緑 6
---------------------------------------	-------

エルサレムのアジア大会に参加	木元靖浩 7
----------------	--------

La 98a UK 大統領が出席してあいさつ	田熊健二 10
------------------------	---------

Iomete pri Rejkjaviko kaj UK*	MUTO Tacuko 10
-------------------------------	----------------

Kongresejo estas renkontejo!	木谷奉子 10
------------------------------	---------

Salono

「ハリー・ポッター」の翻訳に協力	藤井由美子 2
------------------	---------

エスペラント会の会員を増加させるために	木元靖浩 3
---------------------	--------

リトアニアのこどもとスカイプで交流	木谷奉子 3
-------------------	--------

第61回関西大会のフレーム切手	前川治哉 4
-----------------	--------

鈴木二郎さんのフレーム切手	峰芳隆 4
---------------	-------

インターネットで署名活動	島谷剛 4
--------------	-------

JEI 学力検定試験4級の実施体験	相川節子 4
-------------------	--------

インドネシアに本を寄贈	磯貝尚武 5
-------------	--------

Saluton!	堀ノ江義仁 6
----------	---------

エスペラントの町訪問記	西千寿子 7
-------------	--------

ラムステッドと宮沢賢治のこと	峰芳隆 7
----------------	-------

宮沢賢治展にエスペラント訳書	峰芳隆 7
----------------	-------

「時事エスペラント勉強会」始めました	広高正昭 8
--------------------	--------

なだいなだとエスペラント	峰芳隆 8
--------------	-------

梶山季之とエスペラント	峰芳隆 8
-------------	-------

会報を「自炊」しよう	島谷剛 8
------------	-------

ネットで公開エスペラント訳「日本国憲法」	峰芳隆 9
----------------------	-------

日本セカンドライフ協会の講座で講師を体験	中津正徳 9
----------------------	--------

第100回日本大会に樽酒の鏡割りを!	木元靖浩 9
--------------------	--------

La Movado スキャンと日本語エスペラント辞典 DVD 版	福本博次 10
----------------------------------	---------

Ĉarma の交流会	山田シマコ 10
------------	----------

九大の岡崎教授、エスペラントで発信	峰芳隆 11
-------------------	--------

普及してほしい Raportoj el Japanio15 と 16	堀泰雄 11
------------------------------------	--------

国際郵便切手券と航空書簡	前川治哉 11
--------------	---------

私とエスペラント	向雅也 11
----------	--------

実際の生活をみてみたい	江崎真由美 11
-------------	----------

世界中に行ける?	和泉真美子 11
----------	----------

エスペラント図書館を訪ねてきました	西千寿子 12
-------------------	---------

Kajero Libervola*

SASANUMA Kazuhiro 1,4,8 / MATUMOTO Midori 2,5,6,9,12	
--	--

Okau Ĵunpe(Telesa) 3,7 / KAWAI Yuka 10	
--	--

AIKAWA Setuko 11

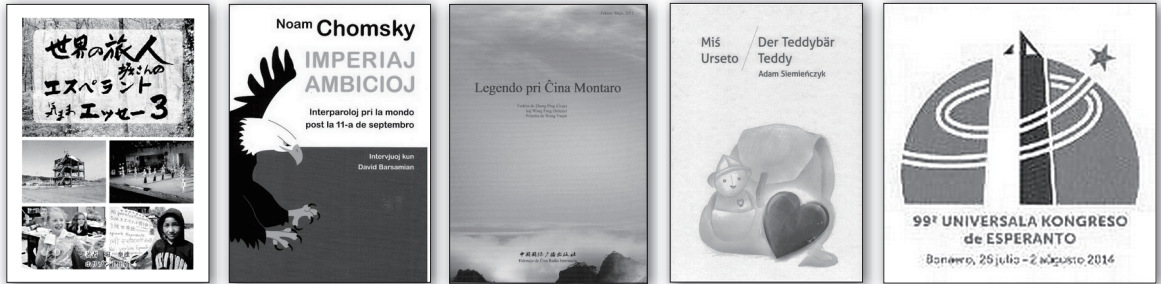
学習	
----	--

初心者ための語尾なし単語の使い方	相川節子 1-12
------------------	-----------

楽しい作文教室	塚本猛 1-12
---------	----------

Vortaro por Lernantoj*	Laulum 1-12
------------------------	-------------

Kurantaj vortoj	8,11	協会・連盟・地方会・諸団体	
文芸		KLEG 活動報告 7/KLEG 活動方針・役員	7
対訳「高原にて」	堀辰雄 / 沖恵明 1-2	KLEG 委員会 1,3,5,9/KLEG 事務局だより	1-12
対訳「炉辺」	堀辰雄 / 沖恵明 3-5	KLEG が中国とインドネシアに書籍を寄贈	5
対訳「初秋の浅間」	堀辰雄 / 沖恵明 6-10	JEI 講師養成講座 2,3,5 / JEI 10	
対訳「大きな手」	竹久夢二 / 沖恵明 11,12	日本大会常置委員会の解散	4
モバード俳句	広高正昭 2,5,8,11	各地のザメンホフ祭 2,11,12 / 池田 7,9,10	
歌 (楽譜)		宇治城陽 1,3,6,7,8,10,11,12 / 大阪 9 / 近江 6	
Rekviemo*	trad. Konisi gaku 3	京都 1,3,4,7,8 / 神戸 1,3,6,10 / 堺 3,5,6,7,9,10	
Lingvo por ni*	poezio. SIMATANI Takesi 9	吹田 1,7,10 / 高槻 1,8,10 / 豊中 9,11 / 奈良 7	
書評		はりま 1,2,5,10/ 枚方 4/ 和歌山 1/ 富田林 3/ 宝塚 11	
Mirrakontoj de Liaozhai	河合隆 2	聖書を読む会 2/ 広島 1,4,5/ 山口 11/ 高知 7/ 福岡 6	
エスペラント俳句の作り方	峰芳隆 3	大宰府 1,10 / 鹿児島 4,10	
簡明エスペラント辞典	峰芳隆 4	エスペラント普及会 90 周年記念行事 4	
エスペラントで読む「メロス」	中村大真 11	名古屋 10/ 沼津 4/ 東京 4/ 東京「お花見 2013」4	
日本エスペラント運動人名事典	渡辺克義 12	ロンド・コロノ 3,9,12	
図書・出版		学校	
自著を語る「対訳・アラスカの駅伝」	石川一也 1	高槻五百住小学校 6/ 池田北高校 11/ 東京外国語大学 11	
KLEG を中心とした出版活動	峰芳隆 2	九州大学 11	
日本エスペラント運動人名事典の出版	峰芳隆 2	諸活動	
三重県エスペラント運動史	3	Vikipedio への招待	森川和徳 1
Japanaj eldonadoj en 2012*	SOMEKAWA Takatosi 4	Vikipedio による我が町紹介	神戸エスペラント会 3
自著を語る "Punkuino kaj aliaj nepalaj rakontoj"	土居智江子 4	Literumilo Esperanta について	塚本猛 6
ルーマニアの Julia SIGMOND の詩集 "DIALOGO"	4	最近心に強く響いたできごと	的場朋子 6
自著を語る「エスペラント実用作文教室」	相川節子 9	ウィキペディアのページを作る	島谷剛 9
Rakonti mian libron*	LEE Jungkee 11	なぜ輪読会なのか	松本淳 11
"Japana Literatura Juvelaro" の収録作品	12	ネット版 "Verkoj de Tacuo" 3 / KER 試験 5	
「日本エスペラント運動人名事典」が出るまで	峰芳隆 12	白井裕之さん、akademiano に	7
運動史		広島で世界のメッセージ展示 5/kafejo lante 8	
宮本正男が残したもの		函館でエロシエンコについての研究報告	8
宮本さんの著書を読み返して思うこと	赤田義久 3	日本平和学会の春季研究大会	8
宮本正男さんの思い出	北川昭二 4	下関にエスペラント図書館設立	9
切手やシールにまつわる思い出	前川治哉 5	東かがわ市で世界人形展	10,12
竹花人さんが版画家になったきっかけ	田熊健二 6	絵本「稲むらの火」贈呈に反響	11
追悼記に書き残したこと	ドイヒロカズ 7	長崎平和宣言エスペラント訳 11/ 人形大使歓迎会 11	
毒舌と細心と	藤本達生 8	KER 中級 (B2) 筆記試験対策セミナー	12
「人間は思想をもたなければならない」	タニヒロユキ 10	来訪外国人	
「宮本正男の仕事を再評価する」	小林司 11	Kazue Audibert & Flavie Wakako Audibert 1	
関西の雑誌発行活動	峰芳隆 5,6	Rowland Goodbody 11/Tist kaj Leo 11	
KLEG の共同翻訳活動	峰芳隆 10	訃報・追悼	
国内外の大会		Laŭlum さんの思い出	峰芳隆 1
第 1 回インドネシア大会	磯貝尚武 1	辰巳博さんを偲ぶ スキー合宿の思い出	國井兵太郎 7
Israelo invitas vin al Azia Kongreso!*	Amri WANEDL 2	辰巳博さんを偲ぶ 28 年続いた数学パズル	田熊健二 7
第 100 回世界大会はフランスで	5	谷垣孝幸 1/ 中川邦彦 1/ 辰巳博 5/ 田中禎一 6/ 西川悟 7	
第 1 回インドネシア大会 5/ 東北大会 1,3,10/ 東海大会 3,4		坂本イク子 12/ 鳥原茂之 12	
関東大会 5,7/ 北海道大会 10		その他	
合宿		Enigmo*	Tacumi Hiroši 1,3,5
国際エスペラント合宿 3/ JEI エスペラントセミナーオ 4		Enigmo*	ŜiMATANI Takesi 7
初夏の札幌で 6 / EPA の国際合宿 6		Enigmo*	Redakcio 9,11,12
エスペラント漬け合宿 7 / 第 26 回みどりの学校 7		Vortokruca Enigmo*	Redakcio 2,4,6,8,10
八ヶ岳エスペラント館秋の文化講座	8	Mikspoto	1-12



★ 新刊・新着 ★

日本エスペラント運動人名事典 特価 5880 円
柴田巖・後藤斉編、峰芳隆監修。エスペラント運動に関わった約 2900 人の経歴を集成(6 ページ書評参照)。JEIのご協力により特価で限定販売。ひつじ書房発行。A5判上製カバー装、函入り、672p。
※刊行記念特価販売のため会員割引はありません。

世界の旅人堀さんの気ままエッセー3 1200 円
愛読者の多い堀泰雄の好評エッセー集第3巻。東日本大震災被災地の訪問記、エスペラントを活用して各地を訪ね交流を深めた記録など。B5判、254p。

Japana Literatura Juvelaro 1050 円
第 100 回日本大会記念に出版された日本文学集。古代から近代まで多彩な作品を収録(収録作品は 8 ページ参照)。A5判、211p。

Imperiaj ambicioj 1600 円
言語学者チョムスキーは機知に満ちた鋭利な社会批評でも知られる。アメリカの政治や外交、国際情勢、社会運動などを縦横に語る。A5判、160p。

Legendo pri ĉina montaro 1900 円
崑崙、黄山、泰山、峨眉山など中国の名山・名峰にまつわる伝承を収める。A5判、255p。

Urseto/Miŝ/Der Teddybär/Teddy 2100 円
やわらかな筆致の絵本。エスペラント・ポーランド語・英語・独語の4言語対訳。A4判、24p。

Glumarko Bonaero 160 円
ブエノスアイレス世界大会(2014年開催)のシンボルマークをあしらったシール。

★ 再入荷 ★

La Ĉashundo de la Baskerviloj 2000 円
コナン・ドイル『バスカヴィル家の犬』

Faktoj kaj fantazioj 1400 円(値下げ)
Boulton が編んだ読本。輪読や継続講習に最適。

Monumente pri Esperanto 800 円(値下げ)
世界各地のエスペラント関連の記念物を案内。

Proverbaro esperanta 800 円
ザメンホフによることわざ集。

La respubliko 2900 円
プラトン「国家」。古典ギリシャ語からの翻訳。

★ エスペランチストの軌跡 ★
流れやまぬ小川のように 2000 円
宇治で活動した中村日出男の遺稿集。

Vivo kaj verkoj de Miyamoto Masao 800 円
宮本正男の没後 10 周年記念追悼文集。

意あるところ道あり 2100 円
UEA会長を務めた八木日出雄の記念誌。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート



☆ザメンホフ祭の季節がやってきました。12月15日はエスペラント界で「本の日」とも呼ばれています。本を買いましょう。そして読みましょう。

☆18・19ページの年間記事索引は、大西真一さんに作成していただきました。(相川節子)

発行所：ラ・モバード社 編集：小西 岳 発行人：北 さとり 定価280円 送料60円 1年3800円 送料共本
局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南 2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 734-0041 広島市南区黄金山町 7-15 忍岡守隆方 電話 (082) 286-2745
印刷人：村 上 治 道 621-0815 京都府亀岡市古世町北古世 82-3 株式会社 天声社